

奇跡の道

ACIM

序文

1 奇跡の道。2 必修すべき道である。3 いつ取り組むかということだけはあなたの随意。4 自由意思とは学ぶ内容を自分で決められるという意味ではない。5 ただ好きなときに何を取りたいかを選ぶだけのこと。6 この道は愛の意味を教えることを目指しているのではない、なぜならそれは教えられることを越えているからである。7 しかしながら、愛は現存する、と自覚することをさえぎるものを取り除くということはたしかに目指している、そしてその愛はあなたが生まれながらに受け継いでいる。8 愛に反するものは恐れであるが、すべてを含み持つものは相反するものを持ち得ないのである。

2 したがってこの道は、次のようにごく簡単に要約することができる。

2 実在的なものは何も脅かされることはない。

3 非実在的なものは何も存在しない。

4 ここにこそ神の平安がある (S - 1)。

INTRODUCTION

T'in.1. This is a course in miracles. 2 It is a required course. 3 Only the time you take it is voluntary. 4 Free will does not mean that you can establish the curriculum. 5 It means only that you can elect what you want to take at a given time. 6 The course does not aim at teaching the meaning of love, for that is beyond what can be taught. 7 It does aim, however, at removing the blocks to the awareness of love's presence, which is your natural inheritance. 8 The opposite of love is fear, but what is all-encompassing can have no opposite.

T'in.2. This course can therefore be summed up very simply in this way:

2 Nothing real can be threatened.

3 Nothing unreal exists.

4 Herein lies the peace of God.

第一章 奇跡の意味

一 奇跡の原理

1 奇跡に難しさの順序はない。2ある奇跡がほかのより「難しい」とか「大きい」とかということはない。3ぜんぶ同じだといえる。4愛の表現はすべて最高のものである。

2 どのような奇跡であろうがそれ自体は重要ではない。2ただひとつ重要なことはその御源であるが、それは評価の範囲をはるかに越えている。

3 奇跡は愛の表現として自然に起こる。2本当の奇跡とはそうした奇跡を思い起こさせる愛。3この意味においては愛によって生ずるあらゆるものが奇跡である。

4 すべての奇跡はいのちを意味し、神がいのちを与え賜う御方である。2神の御声があなたをきわめて明確に導くだろう。3知らなければならないことはすべて告げられる。

5 奇跡は習慣で、知らず知らずのうちに生ずべきもの。2意識に左右されるべきではない。3意識的に選ばれた奇跡は誤って導かれることが有り得る。

6 奇跡は当然の成り行きである。2起こらないときは何かが悪く行かなかったということになる。

Chapter 1.

THE MEANING OF MIRACLES

I. Principles of Miracles

T-1.I.1. There is no order of difficulty in miracles. 2 One is not "harder" or "bigger" than another. 3 They are all the same. 4 All expressions of love are maximal.

T-1.I.2. Miracles as such do not matter. 2 The only thing that matters is their Source, which is far beyond evaluation.

T-1.I.3. Miracles occur naturally as expressions of love. 2 The real miracle is the love that inspires them. 3 In this sense everything that comes from love is a miracle.

T-1.I.4. All miracles mean life, and God is the Giver of life. 2 His Voice will direct you very specifically. 3 You will be told all you need to know.

T-1.I.5. Miracles are habits, and should be involuntary. 2 They should not be under conscious control. 3 Consciously selected miracles can be misguided.

T-1.I.6. Miracles are natural. 2 When they do not occur something has gone wrong.

7 奇跡はだれもが持つ権利、しかしまず清めが必要である。

8 奇跡は不足するものを補うので癒しであり、それは一時的に不足している人のためにその時点で余裕のある人によって成される。

9 奇跡は一種の取り交わしである。²愛の表現はみな真の意味でつねに奇跡的なものだが、それに似て、取り交わすこと自体が物質の法則といわれるものをくつがえす。³奇跡はより多くの愛を与え手と受け手の両者にもたらすといえる。

十 信心をひき起こす見せ物として奇跡を使うのはその目的を誤解してのことである。

十一 祈りとは奇跡のなかだちをするもの。²創造されたものと御創造主とが意思の疎通をするための手段といえる。³祈りによって愛を受けとり、奇跡によって愛を表現する。

十二 奇跡は思考である。²思考というものは下等または肉体的な段階での経験や、高等または霊的な段階での経験を表すことができる。³前者は物質的なものを作り、後者は霊的なものを創造する。

十三 奇跡は始めでありまた終りでもある、したがって、時間的な順序を変える。²再生つまり生まれかわるということを肯定するのが常であって、こうするのは後退するように思えるけれども本当は前進することだといえる。³そうした奇跡は現在において

T-1.I.7. Miracles are everyone's right, but purification is necessary first.

T-1.I.8. Miracles are healing because they supply a lack; they are performed by those who temporarily have more for those who temporarily have less.

T-1.I.9. Miracles are a kind of exchange. ² Like all expressions of love, which are always miraculous in the true sense, the exchange reverses the physical laws. ³ They bring more love both to the giver <and> the receiver.

T-1.I.10. The use of miracles as spectacles to induce belief is a misunderstanding of their purpose.

T-1.I.11. Prayer is the medium of miracles. ² It is a means of communication of the created with the Creator. ³ Through prayer love is received, and through miracles love is expressed.

T-1.I.12. Miracles are thoughts. ² Thoughts can represent the lower or bodily level of experience, or the higher or spiritual level of experience. ³ One makes the physical, and the other creates the spiritual.

T-1.I.13. Miracles are both beginnings and endings, and so they alter the temporal order. ² They are always affirmations of rebirth, which seem to go back but really go forward. ³ They undo the past in the present, and thus release the future.

過去をもとどおりにするのであり、したがって未来を解き放つことになる。

十四 奇跡は真理を証明する(S- 2)。²確信から起こるので奇跡には説得力がある。³確信なしでは、魔術になりさがってしまい、そんな魔術は心をとまわらないので破壊的であり、またむしろ心の非創造的な使い方だといえる。

十五 一日一日を奇跡にささげるべきである。²時間の目的はいかにそれを建設的に使うかをあなたが学べるようにすること。³したがってそれは教えの手だてであり、目的を達するための手段でもある。⁴時間は学ぶことを容易にするのに役立たなくなったとき止む。

十六 奇跡は教えの手だてであるが、これが実証するのは与えることは受け取るのと同じように幸せであるということ(S- 3)。²与え手の力を増すと同時に、受け手にも力を供給するのである。

十七 奇跡はからだというものを超越する。²肉体的な段階から離れて目に見えないものへと突然に移行することをいう。³それで奇跡は癒すのである。

十八 奇跡とは奉仕である。²それもだれかのためにできる最高の奉仕。³隣人を我身のごとく愛する方法といえる(S- 4)。⁴自分自身の真価と隣人の真価とを同時に認めるということである。

T-1.I.14. Miracles bear witness to truth. ² They are convincing because they arise from conviction. ³ Without conviction they deteriorate into magic, which is mindless and therefore destructive; or rather, the uncreative use of mind.

T-1.I.15. Each day should be devoted to miracles. ² The purpose of time is to enable you to learn how to use time constructively. ³ It is thus a teaching device and a means to an end. ⁴ Time will cease when it is no longer useful in facilitating learning.

T-1.I.16. Miracles are teaching devices for demonstrating it is as blessed to give as to receive. ² They simultaneously increase the strength of the giver and supply strength to the receiver.

T-1.I.17. Miracles transcend the body. ² They are sudden shifts into invisibility, away from the bodily level. ³ That is why they heal.

T-1.I.18. A miracle is a service. ² It is the maximal service you can render to another. ³ It is a way of loving your neighbor as yourself. ⁴ You recognize your own and your neighbor's worth simultaneously.

十九 奇跡は神のうちに心を一にする(S-5)。²奇跡が協同をあてにするというのは、神の御子としての身分は神が創造されたものすべての和ともいうものだからである。³したがって奇跡は時間の法則ではなくて、永遠の法則を反映する。

二十 奇跡が自覚することを再びめざめさせるのだが、それはからだではなくて、霊こそ真理の祭壇だと自覚すること。²このような再認識こそが奇跡のもつ癒す力へとみちびくのである。

二十一 奇跡は許しにともなう当然のしるしである。²奇跡を通して、神の許しをほかの人たちに差し伸べることにより、自分がその許しを受け入れることになる。

二十二 奇跡が恐れを連想させるのは、ただ暗闇は隠れることができるという確信のためである。²あなたは肉体の目で見ることができないものは存在しないと信じている。³こう信じることが霊的に見えるものを否認させるのである(S-6)。

二十三 奇跡は知覚をならべ直してすべての段階を真実にかなったつりあいにおく。²こうすることが癒しとなる、というのは病気になるのはそのような段階を混同することによるからである。

二十四 奇跡はあなたに病人を癒し、死人をよみがえらすことを可能にする、なぜなら自分で病気や死というものを作ったので、両方とも完全になくせるのである(S-7)。²あなたは奇跡であって、御創造主に似て創造することができる。³ほかのものは何もかもこ

T-1.I.19. Miracles make minds one in God. ² They depend on cooperation because the Sonship is the sum of all that God created. ³ Miracles therefore reflect the laws of eternity, not of time.

T-1.I.20. Miracles reawaken the awareness that the spirit, not the body, is the altar of truth. ² This is the recognition that leads to the healing power of the miracle.

T-1.I.21. Miracles are natural signs of forgiveness. ² Through miracles you accept God's forgiveness by extending it to others.

T-1.I.22. Miracles are associated with fear only because of the belief that darkness can hide. ² You believe that what your physical eyes cannot see does not exist. ³ This leads to a denial of spiritual sight.

T-1.I.23. Miracles rearrange perception and place all levels in true perspective. ² This is healing because sickness comes from confusing the levels.

T-1.I.24. Miracles enable you to heal the sick and raise the dead because you made sickness and death yourself, and can therefore abolish both. ² <You> are a miracle, capable of creating in the likeness of your Creator. ³ Everything else is your own nightmare, and does not exist. ⁴ Only the creations of light are real.

とごとく自分自身の悪夢であって、存在しない。⁴ただ光りによって創造されたものだけが実在的なものであるといえる。

二十五 奇跡はいわば許しが連動するような鎖の部分で、それが完了されたとき贖罪となる。²贖罪はいつでも、そして時間のすべての次元において作用するのである。

二十六 奇跡は恐れから解放された状態をあらわす。²「償うこと」とは「もとどおりにすること」を意味する。³恐れをもとどおりにするということは、奇跡がもつ贖罪的価値のきわめて重要な役割である。

二十七 奇跡は普遍的な恵みといえるものであるが、それは神から私を通じてきょうだい皆に注がれるのである。²許された者にとっては許せるということは、いわば特別な名誉だとさえ思える。

二十八 奇跡は恐れからの解放をうけるに値するとみなす方法。²啓示は恐れがすでにまったくなくなった状態をさそい出す。³したがって奇跡は手段であり啓示は結果である。

二十九 奇跡はあなたを通じて神を賛美する。²神が創造なさったものに対して敬意をはらい、またその完全さを肯定することによって神をたたえる。³からだと同一ではないと否定し、霊と同一であることを肯定するがゆえに癒すのである。

T-1.I.25. Miracles are part of an interlocking chain of forgiveness which, when completed, is the Atonement. ² Atonement works all the time and in all the dimensions of time.

T-1.I.26. Miracles represent freedom from fear. ² "Atoning" means "undoing." ³ The undoing of fear is an essential part of the Atonement value of miracles.

T-1.I.27. A miracle is a universal blessing from God through me to all my brothers. ² It is the privilege of the forgiven to forgive.

T-1.I.28. Miracles are a way of earning release from fear. ² Revelation induces a state in which fear has already been abolished. ³ Miracles are thus a means and revelation is an end.

T-1.I.29. Miracles praise God through you. ² They praise Him by honoring His creations, affirming their perfection. ³ They heal because they deny body-identification and affirm spirit-identification.

三十 霊を認めることによって、奇跡は知覚の段階を調整し、ふさわしい配列にしておいてみせる。2 こうすることが霊を中心におくことになり、そこではじかに意志の疎通をすることができる。

三十一 奇跡は畏敬の念ではなくて、感謝の気持ちを起こさせるはずだ。2 あなたは自分が本当に何であるかを神に感謝すべきである。3 神の子供たちは神聖であって、奇跡はその神聖さを尊ぶのであるが、そうした神聖さは隠されることはあれども決して失われるものではない。

三十二 私が励まして奇跡をみなおこさせるのだが、そうした奇跡は実際には人のために祈って取りなすということ。2 あなたの神聖さのために取りなしたうえで知覚を神聖なものとするのである。3 あなたを物質的な法則を越えたところにおき、天界という階級の域へと引き上げる。4 この階級のうちでこそあなたは完全なものとなるのである。

三十三 あなたの愛らしさのゆえに奇跡はあなたを尊ぶ。2 そうした奇跡はあなた自身についての錯覚をぬぐい去ったうえで内なる光というものを知覚する。3 したがって悪夢からあなたを自由にし、そうした誤りを償うのである。4 いわば心を錯覚という監禁状態から解放することによって、奇跡はあなたに正気をとりもどさせる。

三十四 奇跡は心をそれが満たされたすがたへともどす。2 不足しているのを償うことによって申し分のない擁護をたしかなものとする。

T-1.I.30. By recognizing spirit, miracles adjust the levels of perception and show them in proper alignment. 2 This places spirit at the center, where it can communicate directly.

T-1.I.31. Miracles should inspire gratitude, not awe. 2 You should thank God for what you really are. 3 The children of God are holy and the miracle honors their holiness, which can be hidden but never lost.

T-1.I.32. I inspire all miracles, which are really intercessions. 2 They intercede for your holiness and make your perceptions holy. 3 By placing you beyond the physical laws they raise you into the sphere of celestial order. 4 In this order you <are> perfect.

T-1.I.33. Miracles honor you because you are lovable. 2 They dispel illusions about yourself and perceive the light in you. 3 They thus atone for your errors by freeing you from your nightmares. 4 By releasing your mind from the imprisonment of your illusions, they restore your sanity.

T-1.I.34. Miracles restore the mind to its fullness. 2 By atoning for lack they establish perfect protection. 3 The spirit's strength leaves no room for intrusions.

のともする。3 霊の力は侵入しようとするものに、その余地を残さないのである。

三十五 奇跡は愛の表現である、しかし必ずしも目に見える結果を伴うとは限らない。

三十六 奇跡は正しい考え方の実例で、あなたが知覚することを神が創造されたままの真理と同調させる。

三十七 奇跡は間違った考え方に対して私が採り入れた訂正ともいうもの。2 それは触媒のはたらきをつとめ、まず誤った知覚をばらばらにしたうえで、再びまとめて適切なものにしあげる。3 こうすることがあなたを贖罪の原理のもとにおき、そこで知覚は癒されることになる。4 これが起こるまでは、神が授けられた御階級について認識するのは不可能である。

三十八 聖霊は奇跡が起こるために必要な心理過程とでもいえるものである。2 神が創造なさったものとあなたの錯覚とを両方とも見分ける。3 真実のものを間違ったものから分離させるが、選択的にというよりむしろ全体的に知覚する能力によって分けるのである。

三十九 奇跡は誤りをないものとする、なぜなら聖霊は誤りを間違い、または本当でないと思なすのであるから。2 これは光を知覚することによって暗闇が自動的に消滅するのと同じである。

T-1.I.35. Miracles are expressions of love, but they may not always have observable effects.

T-1.I.36. Miracles are examples of right thinking, aligning your perceptions with truth as God created it.

T-1.I.37. A miracle is a correction introduced into false thinking by me. 2 It acts as a catalyst, breaking up erroneous perception and reorganizing it properly. 3 This places you under the Atonement principle, where perception is healed. 4 Until this has occurred, knowledge of the Divine Order is impossible.

T-1.I.38. The Holy Spirit is the mechanism of miracles. 2 He recognizes both God's creations and your illusions. 3 He separates the true from the false by His ability to perceive totally rather than selectively.

T-1.I.39. The miracle dissolves error because the Holy Spirit identifies error as false or unreal. 2 This is the same as saying that by perceiving light, darkness automatically disappears.

四十 奇跡はすべての人があなたのきょうだいであり、また私のきょうだいであると承認する。2神の普遍的な印というものを知覚する方法だといえる。

四十一 完全であるすがたこそ奇跡が知覚する内容である。2したがって奇跡は欠けていると間違っって知覚することを訂正したり、または償ったりするのである。

四十二 奇跡が主に貢献できるのは、奇跡にある力そのものであるが、それはあなたを孤立感や喪失感や欠乏感のような間違っった思いから解放する力のことである。

四十三 奇跡が生じるのは奇跡的な心の状態、または奇跡への心構えを持った状態においてである。

四十四 奇跡が表現するのはキリストを内心自覚していることや、キリストの贖罪を受け入れるということである。

四十五 奇跡は決して失われることはない。2会ったこともない多くの人々に影響を及ぼしたり、自分で気づいてもいない状況において、夢にも思わない変化をうみだしたりする可能性などはある。

四十六 聖霊が最高の意志の疎通をするためのなかだちである。2奇跡はこのような意志の疎通を含まない、それは一時的な意志の疎通の手だてであるから。3あなたが最初にそうであったように、

T-1.I.40. The miracle acknowledges everyone as your brother and mine. 2 It is a way of perceiving the universal mark of God.

T-1.I.41. Wholeness is the perceptual content of miracles. 2 They thus correct, or atone for, the faulty perception of lack.

T-1.I.42. A major contribution of miracles is their strength in releasing you from your false sense of isolation, deprivation and lack.

T-1.I.43. Miracles arise from a miraculous state of mind, or a state of miracle-readiness.

T-1.I.44. The miracle is an expression of an inner awareness of Christ and the acceptance of His Atonement.

T-1.I.45. A miracle is never lost. 2 It may touch many people you have not even met, and produce undreamed of changes in situations of which you are not even aware.

T-1.I.46. The Holy Spirit is the highest communication medium. 2 Miracles do not involve this type of communication, because they are <temporary> communication devices. 3 When you return to your original form of communication with God by direct revelation, the need for miracles is over.

じかに受ける啓示によって神と意志の疎通をおこなう形態へもどれば、奇跡の必要はなくなるのである。

四十七 奇跡は時間の必要性を少なくするための学びの手だてといえる。2 普通の時間についての法則には従わないで、型にはまらない時間的隔たりを確立する。3 この意味において奇跡は時間に限定されないものである。

四十八 奇跡は時間を制御するために、いますぐあなたの意のままになるただ一つの手だてといえる。2 ただ啓示だけが時間とはまったく関係ないので時間を超越するのである。

四十九 奇跡は誤った知覚をその度合いによって区別などしない。2 知覚を訂正するための手だてとして、そうした誤り自体の度合または傾向のどちらにもまったく関係なく効果的である。3 奇跡のもつ真の無差別性とはこのこと。

五十 奇跡はあなたが作ったものを創造と比べて、それと一致するものは真実として受け入れ、一致しないものは間違いだとして拒絶するのである。

T-1.I.47. The miracle is a learning device that lessens the need for time. 2 It establishes an out-of-pattern time interval not under the usual laws of time. 3 In this sense it is timeless.

T-1.I.48. The miracle is the only device at your immediate disposal for controlling time. 2 Only revelation transcends it, having nothing to do with time at all.

T-1.I.49. The miracle makes no distinction among degrees of misperception. 2 It is a device for perception correction, effective quite apart from either the degree or the direction of the error. 3 This is its true indiscriminateness.

T-1.I.50. The miracle compares what you have made with creation, accepting what is in accord with it as true, and rejecting what is out of accord as false.

八 もういちど選ぶ

1 誘惑は、どんなかたちであれまたどこで生じるのであれ、一つのことを教えようとしている。2 神聖な神の子に向かって、あなたはからだであり、必ず死ぬ定めをもって生まれ、その弱さから逃れることはかなわず、何を感じるかはその命令に縛られた身だと説得しようとする。3 そんなものがその神の子に何ができるか限界を定め、その体力が神の子の持てる唯一のちからで、からだだとどくせまい範囲でしか、ものごとを把握できないとする。4 あなたはこんなものになるつもりだろうか、もしキリストがあらん限りの栄光のうちに現われて、あなたに一つだけ次のように頼んだらどうだろう ー

5 この世界の、救い主の一人としての本分を取るのか、それとも地獄にとどまって、きょうだいたちをそこに引き止めておくのか、もういちど選んで欲しい、と。

6 キリストはすでにきているし、こうして欲しいと確かに頼んでいるのである。

2 どのようにしてこの選択をしたらいいのだろうか。2 それは簡単に説明できる。3 あなたはいつでも、自分の弱さと自分のうちなるキリストの強さのどちらかを選ぶ。4 そしてあなたが選ぶのは自分で本物だと思っている方だ。5 ただ決して弱さに指図されて行動したりすることがなければ、それになんの力も与えたことにはならない。6 そしてあなたのうちなるキリストの光に、自分のおこないすべての責任をもってもらうことになる。7 それというもの、

VIII. Choose Once Again

T-31.VIII.1. Temptation has one lesson it would teach, in all its forms, wherever it occurs. 2 It would persuade the holy Son of God he is a body, born in what must die, unable to escape its frailty, and bound by what it orders him to feel. 3 It sets the limits on what he can do; its power is the only strength he has; his grasp cannot exceed its tiny reach. 4 Would you be this, if Christ appeared to you in all His glory, asking you but this:

5 Choose once again if you would take your place among the saviors of the world, or would remain in hell, and hold your brothers there.

6 For He <has> come, and He <is> asking this.

T-31.VIII.2. How do you make the choice? 2 How easily is this explained! 3 You always choose between your weakness and the strength of Christ in you. 4 And what you choose is what you think is real. 5 Simply by never using weakness to direct your actions, you have given it no power. 6 And the light of Christ in you is given charge of everything you do.

あなたが自分の弱さをキリストに手渡したので、かわりにキリストの強さが与えられたからである。

3 いろいろな試練は自分が習得しそこなっていることがら、再び現われてきただけであり、前のときは間違っただけを選んでしまったとはいえ、こんどは正しい選択をすることができるわけで、そうすることによって前に選んだことがもたらした、すべての苦しみから逃れられる。2 どのような困難に直面してしようと、どれほど悲嘆にくれてしようと、困ったことがあるたびに、キリストはあなたを呼んで、「我がきょうだいよ、もういちど選んだらどうだろうか」と、優しく言ってくれる。3 そのキリストは苦痛の源をただのひとも癒されないままにはしておかないし、何らかの想像が真理をおおい隠しているのをそのままにさせることもない。4 そして神が喜びの祭壇として創造なさった者からは、キリストが惨めな思いをすべて取り除いてくれる。5 それにあなたを地獄の夢のなかに一人ぼっちで、慰みのないままにさせることはないし、キリスト自身の顔をあなたから隠すもともになるすべてのものから、あなたの心を解放するつもりでいる。6 キリストこそあなたのうちに実在する唯一の御力なので、キリストの神聖さはあなたのもの。7 キリストこそ神がその御ひとり子として創造なさった、本来の自己そのものなのだから、キリストの力強さもあなたのものである。

4 あなたが作る偶像は、神御自らがあなたに成らせようとしておられるすがたに勝ることはできない。2 では、決して誘惑を怖がらずに、それはたんなる誘惑にすぎないと見なし、もういちど選ぶ機会を与えられているのだと思って、あなたが以前ありとあ

7 For you have brought your weakness unto Him, and He has given you His strength instead.

T-31.VIII.3. Trials are but lessons that you failed to learn presented once again, so where you made a faulty choice before you now can make a better one, and thus escape all pain that what you chose before has brought to you. 2 In every difficulty, all distress, and each perplexity Christ calls to you and gently says, "My brother, choose again." 3 He would not leave one source of pain unhealed, nor any image left to veil the truth. 4 He would remove all misery from you whom God created altar unto joy. 5 He would not leave you comfortless, alone in dreams of hell, but would release your mind from everything that hides His face from you. 6 His Holiness is yours because He is the only power that is real in you. 7 His strength is yours because He is the Self that God created as His only Son.

T-31.VIII.4. The images you make cannot prevail against what God Himself would have you be. 2 Be never fearful of temptation, then, but see it as it is; another chance to choose again, and let Christ's strength prevail in every circumstance and every place you raised an image of

らゆる状況や場所において掲げた自分自身の偶像には、キリストの力強さで打ち勝つがいい。³キリストの顔を隠しているようにみえるものは、そのキリストの威厳のまえでは無力であり、キリストが目にする神聖な光景のなかではかげもかたちもなくなる。⁴この世界の救い主たるものたちとは、キリストと同じように見ようとする者、キリストから離れて見るという自分たちの弱さのかわりに、キリストの力強さを選ぶ者たちにすぎない。⁵その人たちはこの世界を救うだろう、神の御意志のもてるすべての力のうちに心をつにしているのであるから。⁶そしてその人たちが意図することは、神が意図なさることだけである。

5 では、自分自身を弱くて惨めなものだと知覚させようとするような誘惑には、そのすべてに明るい気持ちでつぎのように応答する習慣を身につけるがいい ー

²自分は神が創造してくださったままのすがた。

³神の子は何一つ苦しむはずがない。

⁴そして自分はまさにその神の子である。

⁵したがって、キリストの力で打ち勝てるようにと願うことになり、自分の弱点はみな、神からくる力で絶対に失敗する心配などない力強いものと取り替えることになる。⁶かくして、神聖なるものを選択するまでは、恐れたりもだえ苦しんだりすることが当然のように思っていたのが、こんどは同様に奇跡が当たり前のことになる。⁷というのもその選択をしたことで、仮に当たり前だったこと

yourself before. ³ For what appears to hide the face of Christ is powerless before His majesty, and disappears before His holy sight. ⁴ The saviors of the world, who see like Him, are merely those who choose His strength instead of their own weakness, seen apart from Him. ⁵ They will redeem the world, for they are joined in all the power of the Will of God. ⁶ And what they will is only what He wills.

T-31.VIII.5. Learn, then, the happy habit of response to all temptation to perceive yourself as weak and miserable with these words:

² I am as God created me.

³ His Son can suffer nothing.

⁴ And I am His Son.

⁵ Thus is Christ's strength invited to prevail, replacing all your weakness with the strength that comes from God and that can never fail. ⁶ And thus are miracles as natural as fear and agony appeared to be before the choice for holiness was made. ⁷ For in that choice are false

がそうでなくなるし、代わりのものだと錯覚していたことを手放すようになり、真理を妨げるものが何もなくなるからである。

6 あなたは確かに神が創造なさったままのすがたであり、あなたの見ている命あるすべてのものもそうであって、これはたとえ自分でどんな偶像を見ていようと言えることである。²病気とか苦痛、あるいは弱点とか苦しみとか損失だとみていることは、ただ自分自身を無防備な状態で地獄にいるようなものだ、と知覚させようとする誘惑にすぎない。³こんな誘惑に屈しないように、そうすればどんなかたちの苦痛であれ、それがどこで起ころうが、どれもみな、ただ太陽をまえにした霧のように消えていくのが分るだろう。⁴奇跡は神の子を癒すために生じており、その人の弱さを夢見ている世界の扉をしめて、救いと解放の道を開こうとしている。⁵あなたはその人をどんなすがたにするつもりなのかもういちど選ぶがいい、ただし自分でなんらかの選択をするたびに、これこそ自分だとみなしてそのまま信じる、自分自身のすがたというものを確立することになると覚えておくように。

7 私が頼んでいる小さな贈り物を拒まないでほしい、その代わりに、私はあなたの足元に神の平安をおいて、この平安を、不安定なまま一人寂しくいつも恐怖心を抱きながらこの世界をさまよっている者たち、その一人ひとりにもたらず力をもあなたに与える。²それはあなたがその人と心をつにすようにと与えられており、あなたのうちなるキリストを通して、その人の目を覆っているものをとりのぞき、その人のうちなるキリストを見つめてもらうためであるから。

distinctions gone, illusory alternatives laid by, and nothing left to interfere with truth.

T-31.VIII.6. You <are> as God created you, and so is every living thing you look upon, regardless of the images you see. ² What you behold as sickness and as pain, as weakness and as suffering and loss, is but temptation to perceive yourself defenseless and in hell. ³ Yield not to this, and you will see all pain, in every form, wherever it occurs, but disappear as mists before the sun. ⁴ A miracle has come to heal God's Son, and close the door upon his dreams of weakness, opening the way to his salvation and release. ⁵ Choose once again what you would have him be, remembering that every choice you make establishes your own identity as you will see it and believe it is.

T-31.VIII.7. Deny me not the little gift I ask, when in exchange I lay before your feet the peace of God, and power to bring this peace to everyone who wanders in the world uncertain, lonely, and in constant fear. ² For it is given you to join with him, and through the Christ in you unveil his eyes, and let him look upon the Christ in him.

8 共に救いを受ける我がきょうだいよ、私の声を聞き逃したり、私のことばに耳を傾けずにいたりすることのないように。2私 はあなた自身が解放されるようにと願っているだけである。3この 上なく素晴らしいうえに、すべてを含んでいる世界には、地獄が 入り込む余地などないし、そこからなら天国へはほんのあと一歩。 4あなたの疲れた目には、私が、今までのとは異なる世界、洞察力 で見る世界のように見せよう、それはもうみるからに新しくて きれいで新鮮な世界なので、あなたが前に見ていた苦しみや悲し しみなど忘れてしまいうだろう。5しかもこうした洞察力で見る心の像 を、あなたが出会うすべての者と分かち合わなければならない、 さもないとそれが見えなくなる。6こうした贈り物を与えることこ そ、それを自分のものにする方法であるから。7そして神は愛に満 ちた優しさで、それがあなたのものになるようにとあらかじめ定 めておられるのである。

9 この世界で歩むうちにも、神の賜物を自分たちのものとし て再び認めることができるような状況を知覚する機会が、他にも 本当にたくさん見いだせることを喜ぼうではないか。2そうすれば、 地獄の痕跡や秘密にしている数々の罪や胸に秘めた憎しみなど、 ぜんぶ消えてなくなるであろう。3そしてそんなことに隠されてし まっていた素晴らしい光景がすべて、まるで天国のきれいな芝生 のように見えてきて、キリストが現われるまで旅していた困難な 道のりを、上から見下ろせる高いところまで抱き上げてもらえる。 4我がきょうだいよ、私のことばに耳を傾け、よくよく聞いて私と 心をついにしたい。5神はあらかじめ、私の呼びかけが無駄に ならないように定めておられるし、それを神が確信しておられる

T-31.VIII.8. My brothers in salvation, do not fail to hear my voice and listen to my words. 2 I ask for nothing but your own release. 3 There is no place for hell within a world whose loveliness can yet be so intense and so inclusive it is but a step from there to Heaven. 4 To your tired eyes I bring a vision of a different world, so new and clean and fresh you will forget the pain and sorrow that you saw before. 5 Yet this a vision is which you must share with everyone you see, for otherwise you will behold it not. 6 To give this gift is how to make it yours. 7 And God ordained, in loving kindness, that it be for you.

T-31.VIII.9. Let us be glad that we can walk the world, and find so many chances to perceive another situation where God's gift can once again be recognized as ours! 2 And thus will all the vestiges of hell, the secret sins and hidden hates be gone. 3 And all the loveliness which they concealed appear like lawns of Heaven to our sight, to lift us high above the thorny roads we travelled on before the Christ appeared. 4 Hear me, my brothers, hear and join with me. 5 God has ordained I cannot call in

ことで私は満足している。6あなたは確かに聞いてくれるし、もう一度選んでくれることは確実であるから。7そしてこの選択をすることで、だれもがみな自由になれるのである。

十 御父よ、私はあなたに感謝をささげます、あなたの御子であると同時に私のきょうだいでもある、この聖なる者たちのために。2私がきょうだいたちを信頼するのは、あなたが信頼しておられるからです。3あなたがこの者たちの本来のすがたと、そのすがたは永遠にそのままであると確信しておられるように、私もこのきょうだいたちが私のところに来てくれるということを確認しています。4きっと、私がさしのべる贈り物を受け取ってくれることでしょう、そのためにあなたはそれを私に授けてくださったのですから。5そして、私はただあなたの聖なる御意志を行なうつもりなので、この者たちもそれを選ぶことでしょう。6ですから、きょうだいたちに代わって、私が感謝をささげます。7救いの歌は、私のきょうだいたちがその選択をするたびに、世界中にこだまするでしょう。8私たちは目的にむかって心を一つにしていますし、地獄はもうすぐ終わるのですから。

十一 誘惑を通り越してやってきて私と一つになろうとする一人ひとりのきょうだいを、私は両手をひろげて、喜んで迎えます、そのだれもが固い決意で、少しのあいだも絶えることなく輝き続ける光に向かっています。2私自身に属する者をお与えください、その者たちはあなたに属するのですから。3それに、あなたの御意志にすぎないことを失敗に終わらせるようなことはなさないでしょう。4私のきょうだいたちの本来のすがたに感謝いたします。

vain, and in His certainty I rest content. 6 For you <will> hear, and you <will> choose again. 7 And in this choice is everyone made free.

T-31.VIII.10. I thank You, Father, for these holy ones who are my brothers as they are Your Sons. 2 My faith in them is Yours. 3 I am as sure that they will come to me as You are sure of what they are, and will forever be. 4 They will accept the gift I offer them, because You gave it me on their behalf. 5 And as I would but do Your holy Will, so will they choose. 6 And I give thanks for them. 7 Salvation's song will echo through the world with every choice they make. 8 For we are one in purpose, and the end of hell is near.

T-31.VIII.11. In joyous welcome is my hand outstretched to every brother who would join with me in reaching past temptation, and who looks with fixed determination toward the light that shines beyond in perfect constancy. 2 Give me my own, for they belong to You. 3 And can You fail in what is but Your Will? 4 I give You thanks for what my brothers are.

5一人またひとりと、私に加わることを選ぶにつれて、地上から天国へと届く感謝の歌は、最初メロディーがところどころかすかに聞こえていたのが、しだいに大きくなって、やがては地獄から救われた世界から全員が声をそろえて、あなたに感謝を捧げる一大合唱となるでしょう。

十二 そして今こそ、私たちは「アーメン」と唱えます。
2キリストは、時のはじまる前からあなたが備えておいてくださった住み処に、いつまでも穏やかな気持ちで住むためにやってきたのですから。3旅路はお仕舞となり、それが始まったところで終わるでしょう。4その足跡は全く残ることもないのです。5錯覚はただの一つも信頼されず、だれかにキリストの顔を見えなくするような暗闇は、一点たりとも残ってはおりません。6あなたの御意志が完全かつ申し分なく行なわれました、ですから創造されたすべてのものがあなたに気づき、あなたこそ、そのすべてのものの唯一の御源であるとわかっております。7あなたのうちにて生き生きと活動する、ありとあらゆるものから、明らかにあなたそっくりの御光が輝きでています。8私たちはみんなが一つであるところに達したのですから、やっと我が家にたどり着きました、あなたは私たちをここに居させてくださるのですね。

5 And as each one elects to join with me, the song of thanks from earth to Heaven grows from tiny scattered threads of melody to one inclusive chorus from a world redeemed from hell, and giving thanks to You.

T-31.VIII.12. And now we say "Amen." 2 For Christ has come to dwell in the abode You set for Him before time was, in calm eternity. 3 The journey closes, ending at the place where it began. 4 No trace of it remains. 5 Not one illusion is accorded faith, and not one spot of darkness still remains to hide the face of Christ from anyone. 6 Thy Will is done, complete and perfectly, and all creation recognizes You, and knows You as the only Source it has. 7 Clear in Your likeness does the light shine forth from everything that lives and moves in You. 8 For we have reached where all of us are one, and we are home, where You would have us be.

INTRODUCTION

序論

1 奇跡の道の本文が提供してくれるような理論的な基礎は、この学習書に含まれている練習課題を有意義なものにする枠組みとして、必要である。2しかしそうした課題を実習することによってのみ、この教えの目標に達することができる。3訓練されていない心は、何一つ成し遂げることはできない。4この学習書の目的は、あなたの心を、奇跡の道の本文のなかで明らかにされている方針にそって考えるように、訓練することである。

2 練習課題はきわめて簡単。2練習にはたいした時間はかからないし、どこでやってもかまわない。3なんの準備もいらない。4訓練期間は一年。5練習課題には一から三百六十五まで番号がつけてある。6一日に一つ以上の課題をてがけようとはしないほうがいい。

3 この学習書は二つの主な部分に分けてあり、最初の部分では、今あなたがしているものの見方を取り消すための課題を扱っており、二番目の部分では、真の知覚法を習得するための課題を扱っている。2復習期間は例外として、一日ごとの練習課題は一つの想念を中心にして計画されており、その想念が最初に掲げている。3それにつづいて、その日のための想念をどのように適用すればいいのか、その手順が具体的に説明されている。

W-in.1. A theoretical foundation such as the text provides is necessary as a framework to make the exercises in this workbook meaningful. 2 Yet it is doing the exercises that will make the goal of the course possible. 3 An untrained mind can accomplish nothing. 4 It is the purpose of this workbook to train your mind to think along the lines the text sets forth.

W-in.2. The exercises are very simple. 2 They do not require a great deal of time, and it does not matter where you do them. 3 They need no preparation. 4 The training period is one year. 5 The exercises are numbered from 1 to 365. 6 Do not undertake to do more than one set of exercises a day.

W-in.3. The workbook is divided into two main sections, the first dealing with the undoing of the way you see now, and the second with the acquisition of true perception. 2 With the exception of the review periods, each day's exercises are planned around one central idea, which is stated first. 3 This is followed by a description of the specific procedures by which the idea for the day is to be applied.

4 この学習書の目的は、あなたの心を規則正しい方法で訓練し、いままでとは違う知覚のしかたで、この世界のすべての人やすべてのものを見るようにさせることである。²練習課題は、あなたがいろいろ習うことから一般論が引き出せるように計画されているので、その一つひとつが同じように、あなたが目にするだれにでも、そして何にでも当てはまるということが理解できるようになる。

5 真の知覚、すなわち正しく知覚するための訓練を転移する過程は、この世界で訓練することを転移するような具合には進まない。²もしだれか一人、あるいは一つの状況または一つの出来事に関して正しく知覚することが達成されれば、すべての人とすべてのものに全面的に転移されることは確実。³その反面、正しく知覚することから一つでも例外をみとめれば、何一つ正しく知覚することはできなくなる。

6 そこで、最初から最後まで守ったほうがいいといえる一般的な規則がいくつかあるわけだが、先ず、練習課題は指示される通りに細かいことまで忠実に実践することである。²こうすることで、どのような状況であれ、そこでの自分自身の立場やそこにいるすべての人やすべてのことを含んで、どの状況にも必然的に伴ういくつかの想念を導き出す手助けになる。³二番目に、そうした想念はある人たちやある状況やあるものごとには当てはまらないと、絶対に自分勝手に決めないこと。⁴こんなことをすると、訓練していることを転移するじゃまになる。⁵真の知覚と言われるに足るその本質は、なんの制限もしないということだ。⁶これは、今の

W-in.4. The purpose of the workbook is to train your mind in a systematic way to a different perception of everyone and everything in the world. ² The exercises are planned to help you generalize the lessons, so that you will understand that each of them is equally applicable to everyone and everything you see.

W-in.5. Transfer of training in true perception does not proceed as does transfer of the training of the world. ² If true perception has been achieved in connection with any person, situation or event, total transfer to everyone and everything is certain. ³ On the other hand, one exception held apart from true perception makes its accomplishments anywhere impossible.

W-in.6. The only general rules to be observed throughout, then, are: First, that the exercises be practiced with great specificity, as will be indicated. ² This will help you to generalize the ideas involved to every situation in which you find yourself, and to everyone and everything in it. ³ Second, be sure that you do not decide for yourself that there are some people, situations or things to which the ideas are inapplicable. ⁴ This will interfere with transfer of training. ⁵ The very nature of true perception is that it has no limits. ⁶ It is the opposite of the way you see now.

あなたの見方とは逆である。

7 練習課題が総体的に目指しているのは、あなたがすべてを含むように実践するようになる想念を広げる能力を強めることである。2これにはあなた自身の努力は少しもいらぬ。3練習課題そのものに、こうした転移に必要な条件がそなわっている。

8 この学習書が提示する想念のうちには、あなたに信じ難いと思えるのがいくかあるだろうし、かなりびっくりさせられるようなものもあるかもしれない。2それはかまわない。3あなたは指示通りに、そうした想念を適用するよう頼まれているにすぎない。4それをどうこう判断することなど全く頼まれてはいない。5使ってみるよう頼まれているだけのこと。6使うことで、あなたにとって有意義なものになるし、本当だということがわかってくる。

9 一つだけ覚えておいて欲しいのは、あなたはそうした想念を信じる必要はないし、受け入れる必要もないし、歓迎する必要さえないということ。2あなたはそのうちのいくつかには積極的に抵抗するかもしれない。3こんなことは何一つ関係ないし、そうした想念の効き目が衰えることもない。4しかしこの学習書に含まれている想念を適用するにつけ、自分自身で例外を作るのを許さないこと、そしてそうした想念にたいする自分の反応がどうあれ、使ってみるがいい。5それ以上はなにも要求されてはいない。

W-in.7. The overall aim of the exercises is to increase your ability to extend the ideas you will be practicing to include everything. 2 This will require no effort on your part. 3 The exercises themselves meet the conditions necessary for this kind of transfer.

W-in.8. Some of the ideas the workbook presents you will find hard to believe, and others may seem to be quite startling. 2 This does not matter. 3 You are merely asked to apply the ideas as you are directed to do. 4 You are not asked to judge them at all. 5 You are asked only to use them. 6 It is their use that will give them meaning to you, and will show you that they are true.

W-in.9. Remember only this; you need not believe the ideas, you need not accept them, and you need not even welcome them. 2 Some of them you may actively resist. 3 None of this will matter, or decrease their efficacy. 4 But do not allow yourself to make exceptions in applying the ideas the workbook contains, and whatever your reactions to the ideas may be, use them. 5 Nothing more than that is required.

序論

1 この世界の考え方によると、教える役割と学習する役割とが実際には逆になっている。²その役割が逆転しているということが特徴だといえる。³まるで、教える者と習う者とは別々にされており、教える者は自分自身にたいしてよりも、むしろ習う者に何かを与えるものと思われている。⁴さらにまた、教えるということは特別な活動であって、教える者は自分の持てる時間の比較的小さい間だけ、それに携わるものだと見なされている。⁵これに反して、この奇跡の道は、教えるとは正に習うことであり、したがって教える者と習う者は同じだということを強調する。⁶もう一つ強調しているのは、教えることは絶え間なく続く過程であること、それは一日中いつときも休まず行なわれており、眠っている最中にも続いているという。

2 教えるとは実証すること。²思考体系はただ二つあり、そのうち自分で本当だと信じるほうをあなたはいつも実証している。³あなたが実証することで他の者たちは学び、自分も学ぶことになる。⁴問題はあなたが教えるようになるかどうかではない、それには選択の余地はないのだから。⁵この奇跡の道の教えの目的は、自分が何を学びたいのかに基づいて、自分の教えたいことを選ぶ方法を提供することだといってもいい。⁶あなたには他のだれかに与えることはできない、ただ自分自身に与えられるだけであり、このことは教えているうちに分ってくる。⁷教えることは、証人たちにあなたの信じていることを証明するようと呼びかけることに

INTRODUCTION

M-in.1. The role of teaching and learning is actually reversed in the thinking of the world. 2 The reversal is characteristic. 3 It seems as if the teacher and the learner are separated, the teacher giving something to the learner rather than to himself. 4 Further, the act of teaching is regarded as a special activity, in which one engages only a relatively small proportion of one's time. 5 The course, on the other hand, emphasizes that to teach <is> to learn, so that teacher and learner are the same. 6 It also emphasizes that teaching is a constant process; it goes on every moment of the day, and continues into sleeping thoughts as well.

M-in.2. To teach is to demonstrate. 2 There are only two thought systems, and you demonstrate that you believe one or the other is true all the time. 3 From your demonstration others learn, and so do you. 4 The question is not whether you will teach, for in that there is no choice. 5 The purpose of the course might be said to provide you with a means of choosing what you want to teach on the basis of what you want to learn. 6 You cannot give to someone else, but only to yourself, and this you learn through teaching. 7 Teaching is but a call to witnesses to attest to what you believe.

すぎない。8これは改心するための一つの方法である。9こうしたことは言葉だけで成されるものではない。+どのような立場にいるにせよ、それはあなたにとって他の人たちに自分が何であるかを教え、その人たちは自分にとってどんな存在であるかを教える機会となるに違いない。+-それ以上のことではないが、決してそれ以下のことでもないのである。

3 したがってあなたがどんな教科課程を定めるかはまったく、あなたが自分を何だと思っているか、又は自分にとって他の人はどんな関係にあると信じているかによって決定される。2正式に教える立場にある時は、こうした質問は自分が教えていると思っていることには全く何の関連もないかもしれない。3しかしあなたが本当に教え、したがって本当に習うためには、どのような立場であれその内容を使わずにいることは不可能だ。4このためにはあなたが教えている言葉の内容そのものは全く重要ではない。5それが一致するかもしれないし、しないかもしれない。6あなたが言っていることの裏に潜んだ教えそのものが、あなたに教えることになる。7教えるということは、ただ自分自身について信じていることを強化するにすぎない。8その根本的な目的は自己疑念を少なくすること。9これは、あなたが護ろうとしている自分というものが本物だという意味ではない。+しかし、あなたは自分で本物だと思っている自分を、教えようとするという意味ではある。

4 これは当然だといえる。2それはどうしても免れない。3それ以外にやりようがあるはずがない。4この世界の教科課程にしたがっている者、たしかにここにいる者はだれもがみな、自分の心

8 It is a method of conversion. 9 This is not done by words alone. 10 Any situation must be to you a chance to teach others what you are, and what they are to you. 11 No more than that, but also never less.

M-in.3. The curriculum you set up is therefore determined exclusively by what you think you are, and what you believe the relationship of others is to you. 2 In the formal teaching situation, these questions may be totally unrelated to what you think you are teaching. 3 Yet it is impossible not to use the content of any situation on behalf of what you really teach, and therefore really learn. 4 To this the verbal content of your teaching is quite irrelevant. 5 It may coincide with it, or it may not. 6 It is the teaching underlying what you say that teaches you. 7 Teaching but reinforces what you believe about yourself. 8 Its fundamental purpose is to diminish self-doubt. 9 This does not mean that the self you are trying to protect is real. 10 But it does mean that the self you think is real is what you teach.

M-in.4. This is inevitable. 2 There is no escape from it. 3 How could it be otherwise? 4 Everyone who follows the world's curriculum, and everyone here does follow it until he changes his mind, teaches solely to convince

を変えるまではそれにしがっているわけだが、その一人ひとりがただただ自分は本来の自分ではないものだと、自分自身を納得させるためにのみ教えている。⁵ここにこそこの世界の目的がある。⁶では、ここでの教科課程が今のもの以外のどんなものになり得るだろうか。⁷こんな絶望的で閉鎖的な学習状況で、あきらめることと死ぬことしか教えてくれないようなところに、神は御自分のことを教える教師たちを送り込もうとしておられる。⁸そしてその教師たちが神の喜びと希望に満ちた教えを教えるにつれて、その人たちの学習はついに完了することであろう。

5 神の教師たちを除いては、救われるという希望はほとんどもてないだろう、罪の世界が絶えず本当のように思えるのであるから。²自分を欺こうとする者は欺かざるをえないというのも、自ら欺くことを教えなければならないからだ。³これが地獄でなくて何だというのだろうか。⁴これは神のことを教える者たちのための手引書である。⁵その人たちは完全無欠とはいえない、それが言えたらここにはいないだろう。⁶しかしここで完全になるのがその人たちの使命である、したがって何度もなんども色々な方法で、それを習得するまでそのことを教えようとする。⁷習得した後は、もうその人たちのすがたは見えなくなる、とはいえその人たちの思いというものは永遠に力と真実の源として残るであろう。⁸その人たちはいったい誰なのだろうか。⁹どのようにして選ばれたのだろうか。⁺何をするのだろうか。⁺⁻どのようにして自分自身の救いと、この世界の救いとを成就するのだろうか。^{+二}こうした疑問にこの手引書は答えようとしている。

himself that he is what he is not. 5 Herein is the purpose of the world. 6 What else, then, would its curriculum be? 7 Into this hopeless and closed learning situation, which teaches nothing but despair and death, God sends His teachers. 8 And as they teach His lessons of joy and hope, their learning finally becomes complete.

M-in.5. Except for God's teachers there would be little hope of salvation, for the world of sin would seem forever real. 2 The self-deceiving must deceive, for they must teach deception. 3 And what else is hell? 4 This is a manual for the teachers of God. 5 They are not perfect, or they would not be here. 6 Yet it is their mission to become perfect here, and so they teach perfection over and over, in many, many ways, until they have learned it. 7 And then they are seen no more, although their thoughts remain a source of strength and truth forever. 8 Who are they? 9 How are they chosen? 10 What do they do? 11 How can they work out their own salvation and the salvation of the world? 12 This manual attempts to answer these questions.

みんな自分といっしょに復活してそばにるので、その人たちと一緒に神を迎える準備をするのである。

二十九 その他について

1 この手引き書は、教師と生徒、その両者が思いつきそうな質問にぜんぶ答えようとはしていない。²事実、本文と学習書にでてくる主な概念のいくつかを、手短かに要約するという観点から、多少わかりやすいぶんを少し取り上げているだけである。³その二つのどちらの代わりにもならず、たんなる補足にすぎない。⁴これを教師用手引きと呼んでいるとはいえ、ただ時間が教師と生徒を分けているだけで、その違いは当然一時的なものだということを覚えておく必要がある。⁵場合によっては、ある生徒はこの手引き書を先に読むほうが役に立つかもしれない。⁶他の生徒は、学習書から始めたほうがいいかもしれない。⁷さらに、他のよりもっと抽象的な内容の本文から始める必要がある者もいるだろう。

2 どっちがどっちとも言い難い。²祈るだけで、もっと得るところがある者もいるだろう。³まだ先に進む準備ができていないので、ほほえんでもらうだけでいい者もいるかもしれない。⁴だれ一人、こうした質問に一人で答えようなどとすべきではない。⁵まさか、そのことに気づかずにここまで来たという神の教師は一人もいないだろう。⁶履修課程は個人個人に特別に合わせてあるし、そのすべての面が聖霊の格別の配慮と指導のもとにある。⁷尋ねさえすれば、聖霊は答えてくれる。⁸その責任は聖霊にあり、聖霊だ

with him, by his side, as he prepares with them to meet his God.

29. AS FOR THE REST...

M-29.1. This manual is not intended to answer all questions that both teacher and pupil may raise. ² In fact, it covers only a few of the more obvious ones, in terms of a brief summary of some of the major concepts in the text and workbook. ³ It is not a substitute for either, but merely a supplement. ⁴ While it is called a manual for teachers, it must be remembered that only time divides teacher and pupil, so that the difference is temporary by definition. ⁵ In some cases, it may be helpful for the pupil to read the manual first. ⁶ Others might do better to begin with the workbook. ⁷ Still others may need to start at the more abstract level of the text.

M-29.2. Which is for which? ² Who would profit more from prayers alone? ³ Who needs but a smile, being as yet unready for more? ⁴ No one should attempt to answer these questions alone. ⁵ Surely no teacher of God has come this far without realizing that. ⁶ The curriculum is highly individualized, and all aspects are under the Holy Spirit's particular care and guidance. ⁷ Ask and He will answer. ⁸ The responsibility is His, and

けがそうした責任をとるのに適している。9 そうすることこそ聖霊の役目。+聖霊に質問することはあなたの役目だ。+-あなたは自分がほとんど理解していないことについて、なんらかの決断をする責任を取りたいと思うだろうか。+二あなたには、絶対に間違いを犯すことはないという御教師がついていることを喜ぶがいい。+三その御教師の答えはいつも正しい。+四同じことが自分についていえるだろうか。

3 聖霊に決断をまかせる頻度を少しずつ増していくことには、もう一つ有利な点があり、これはとても大切な点だといえる。2 もしかすると、あなたはこの側面から考えたことはないかもしれないが、それが重要であることは明らかである。3 聖霊の指導にしたがうとは、自分自身を罪責感から放免してもらうということ。4 これこそ贖罪の本質。5 これが履修課程の核心である。6 自分自身のではない役目を、だれかから奪っていると想像することが、恐れの本拠となっている。7 あなたの見ている世界はどこもかしこも、自分がそうしたという錯覚を反映しており、恐れを抱くのは当然だ。8 したがって、その役目をそれにふさわしいお方に戻すことが、恐れから逃れる道。9 そしてこうすることで、愛の思い出が自分に戻ってくる。+では、聖霊の指導にしたがう必要があるのは、単に自分に不備な点があるからだとは思わないこと。+-それこそ、まさに地獄からぬけだす方法である。

4 ここにまたしても、奇跡の道の教えのなかでたびたび引き合いに出された逆説がある。2 「自分の力では何一つできない」ということは、すべての力を手に入れることになる。3 とはいえ、

He alone is fit to assume it. 9 To do so is His function. 10 To refer the questions to Him is yours. 11 Would you want to be responsible for decisions about which you understand so little? 12 Be glad you have a Teacher Who cannot make a mistake. 13 His answers are always right. 14 Would you say that of yours?

M-29.3. There is another advantage, and a very important one, referring decisions to the Holy Spirit with increasing frequency. 2 Perhaps you have not thought of this aspect, but its centrality is obvious. 3 To follow the Holy Spirit's guidance is to let yourself be absolved of guilt. 4 It is the essence of the Atonement. 5 It is the core of the curriculum. 6 The imagined usurping of functions not your own is the basis of fear. 7 The whole world you see reflects the illusion that you have done so, making fear inevitable. 8 To return the function to the One to Whom it belongs is thus the escape from fear. 9 And it is this that lets the memory of love return to you. 10 Do not, then, think that following the Holy Spirit's guidance is necessary merely because of your own inadequacies. 11 It is the way out of hell for you.

M-29.4. Here again is the paradox often referred to in the course. 2 To say, "Of myself I can do nothing" is to gain all power. 3 And yet it is but a

これは逆説だと思えるだけのこと。4神が創造してくださったままのあなた、そのあなたにはすべての力がある。5自分で想像したあなたには何の力もない。6聖霊はあなたについての真実を知っている。7あなたが想像したものはそれを知らない。8ところが、明らかに全く無知であるにもかかわらず、この想像したものがすべての物事を知っていると思いついでいるというのは、あなたがそう信じさせたからだ。9そんなことをあなたは教えており、それを維持するためにこの世界で教えていることはでっちあげられた。+しかし真実を知っている御教師はそれを忘れてはいない。+-その御教師の決めることは、少しも攻撃しないので、みんなのためになる。+=したがって、罪責感を抱かせることはできないのである。

5 自分にない力があると信じ込んでいる者は、思い違いをしている。2しかし神から授かった力を受け入れるとは、ただ自分の御創造主を認め、その御創造主からの賜物を受け入れるということ。3しかも御創造主からの賜物にはなんの制限もないのである。4聖霊に頼んで自分のために決めてもらうということは、単に自分がほんとうに受け継いだものを受け入れるということにすぎない。5これは、聖霊に助言を求めずには、何も言えないという意味だろうか。6いや、そうではない。7それでは実用的とは言えなくなる、この奇跡の道の教えは実際に役立つことを最も配慮しているのだから。8もしあなたが、時と場合に応じて、できるだけ助けを求める習慣を身につけておけば、自分に必要なときに知恵を与えてもらえるかと確信できる。9毎朝このために心の準備をし、一日を通じて神を思い出すように心がけ、実行できそうな時には聖霊に助けを求め、その晩には指導してもらったことを感謝するがいい。

seeming paradox. 4 As God created you, you <have> all power. 5 The image you made of yourself has none. 6 The Holy Spirit knows the truth about you. 7 The image you made does not. 8 Yet, despite its obvious and complete ignorance, this image assumes it knows all things because you have given that belief to it. 9 Such is your teaching, and the teaching of the world that was made to uphold it. 10 But the Teacher Who knows the truth has not forgotten it. 11 His decisions bring benefit to all, being wholly devoid of attack. 12 And therefore incapable of arousing guilt.

M-29.5. Who assumes a power that he does not possess is deceiving himself. 2 Yet to accept the power given him by God is but to acknowledge his Creator and accept His gifts. 3 And His gifts have no limit. 4 To ask the Holy Spirit to decide for you is simply to accept your true inheritance. 5 Does this mean that you cannot say anything without consulting Him? 6 No, indeed! 7 That would hardly be practical, and it is the practical with which this course is most concerned. 8 If you have made it a habit to ask for help when and where you can, you can be confident that wisdom will be given you when you need it. 9 Prepare for this each morning, remember God when you can throughout the day, ask the Holy Spirit's help when it is feasible to do so, and thank Him for His guidance at night.

+そうすれば、あなたが確信できるようになる根拠がほんとうに十分ある。

6 聖霊はあなたの言葉を頼りにしてはいないということを、決して忘れないように。2 聖霊はあなたが胸に納めている願いを理解して、それに答えてくれる。3 ということは、あなたが攻撃したいとの思いに駆られているうちは、聖霊も邪陰に応じるという意味だろうか。4 そんなことはない。5 なぜなら神は聖霊に、あなたの胸に秘めている祈りを聖霊の言語に変える力を与えておられるからである。6 聖霊には、攻撃は助けを求める呼びかけだとよく分かっている。7 だから聖霊はそれに応じて手助けしてくれる。8 もし神が、あなたの言葉を神の御言葉の代わりにするのを許されたなら、神は残酷なお方だということになる。9 子を愛する親は、その子が自分自身を傷つけたり、自分で自分の身を滅ぼそうとしたりするのを、だまって見ているようなことはしない。+その子は自分から痛い目にあおうとするかもしれないが、その子の親はなんとか我が子を守ろうとするだろう。+-とすれば、あなたの御父は御子をそれ以上に、もっともっと愛しておられるのではないだろうか。

7 あなたなくしては、神は完全ではないし、あなたは神の御愛そのものであるということを思い出してほしい。2 あなたの弱さが神の強さであることを思い出してほしい。3 ただしこれを軽率に間違っ読み取らないことだ。4 もし神の強さがあなたのうちにあるのなら、あなたが自分の弱さだと知覚していることは錯覚にすぎない。5 そして、そのとおりだと証明する手段も与えてもらって

10 And your confidence will be well founded indeed.

M-29.6. Never forget that the Holy Spirit does not depend on your words. 2 He understands the requests of your heart, and answers them. 3 Does this mean that, while attack remains attractive to you, He will respond with evil? 4 Hardly! 5 For God has given Him the power to translate your prayers of the heart into His language. 6 He understands that an attack is a call for help. 7 And He responds with help accordingly. 8 God would be cruel if He let your words replace His Own. 9 A loving father does not let his child harm himself, or choose his own destruction. 10 He may ask for injury, but his father will protect him still. 11 And how much more than this does your Father love His Son?

M-29.7. Remember you are His completion and His Love. 2 Remember your weakness is His strength. 3 But do not read this hastily or wrongly. 4 If His strength is in you, what you perceive as your weakness is but illusion. 5 And He has given you the means to prove it so.

いる。6すべてのものを御教師に頼めば、それを全部与えてもらえる。7しかも、それは先のことではなくて、今、すぐにである。8神は待つてはいらっしゃらない、待つということとは暗に時間を意味するが、神は時間を超越しておられるのだから。9自分の想像した愚かなことや、自分のはかなさや、傷つくのではないかと恐れたり、危険な夢とか間違っ選択したりしたことなど、みな忘れるがいい。+神は御自分の子だけを知っておられるのであり、その子は創造されたときのすがたのままだ。+-私はそうであることをあなたに感謝し、自信を持ってあなたを神の御手にゆだねる。

8 そして今、あなたが行なうすべてのことを、祝福されるよう願う。2神はこの世界を救うためにあなたを頼りにしておられる。3神の教師よ神はあなたに感謝しておられるし、全世界はあなたがもたらした神からの恵みのうちに静かにたたずんでいる。4あなたこそ神が愛しておられる御子であり、あなたのお蔭で世界中のものが神の御声に耳を傾けるようになり、時間のうちにあるすべてのものを閉じ、目に見えるすべてのものを見なくなり、移り変わるすべてのものをないものとする。5まだ見たこともなければ聞いたこともないとはいえ、確かに存在するといわれる世界があなたと共にやってくる。6聖なる者よ、あなたの光のうちに、その世界はあなたの神聖さを反映している、あなたは一人ではないし孤独でもないのだから。

6 Ask all things of His Teacher, and all things are given you. 7 Not in the future but immediately; now. 8 God does not wait, for waiting implies time and He is timeless. 9 Forget your foolish images, your sense of frailty and your fear of harm, your dreams of danger and selected "wrongs." 10 God knows but His Son, and as he was created so he is. 11 In confidence I place you in His Hands, and I give thanks for you that this is so.

M-29.8. And now in all your doings be you blessed.
2 God turns to you for help to save the world.
3 Teacher of God, His thanks He offers you,
And all the world stands silent in the grace
You bring from Him. 4 You are the Son He loves,
And it is given you to be the means
Through which His Voice is heard around the world,
To close all things of time; to end the sight
Of all things visible; and to undo
All things that change. 5 Through you is ushered in
A world unseen, unheard, yet truly there.
6 Holy are you, and in your light the world
Reflects your holiness, for you are not
Alone and friendless.

7 私はあなたに感謝をささげ、あなたと一緒に神のために
尽力しよう、それは私のためでもあり、
私と共に神のもとへと歩んで行くみんなのためでも
あるのだから。

8 アーメン

7 I give thanks for you,
And join your efforts on behalf of God,
Knowing they are on my behalf as well,
And for all those who walk to God with me.

8 AMEN